

1. 評価結果概要表

作成日 平成20年 2月 17日

【評価実施概要】

事業所番号	4271402184
法人名	医療法人 杏林堂
事業所名	グループホーム 明星
所在地	〒859-2112 長崎県南島原市布津町乙674-1 (電話) 0957-65-1711

評価機関名	特定非営利活動法人 ローカルネット日本福祉医療評価支援機構		
所在地	〒855-0801 長崎県島原市高島二丁目7217 島原商工会議所1階		
訪問調査日	平成20年2月13日	評価確定日	平成20年3月11日

【情報提供票より】(H20年1月1日事業所記入)

(1) 組織概要

開設年月日	昭和・平成	17年	1月	1日
ユニット数	2 ユニット	利用定員数計	18人	
職員数	12 人	常勤	12 人,	非常勤 0 人, 常勤換算 10.7 人

(2) 建物概要

建物構造	木造平屋造り		
	1 階建ての	1 階 ~	1 階部分

(3) 利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

家賃(平均月額)	15,000 円	その他の経費(月額)	実費 円
敷金	有(円)	無	
保証金の有無 (入居一時金含む)	有(円)	有りの場合 償却の有無	有 / 無
食材料費	朝食	円	昼食 円
	夕食	円	おやつ 円
	または1日当たり	1,000円	

(4) 利用者の概要(1月 1日現在)

利用者人数	17 名	男性	6 名	女性	11 名
要介護1	2 名	要介護2	4 名		
要介護3	5 名	要介護4	5 名		
要介護5	0 名	要支援2	1 名		
年齢	平均 80.5 歳	最低	56 歳	最高	97 歳

(5) 協力医療機関

協力医療機関名	明島整形外科医院・前川歯科医院
---------	-----------------

【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

有明海と雲仙普賢岳の両方が美しく見渡せ、閑静な住宅地にある当ホームは、芝生が敷かれた広い中庭が確保され、気候が暖かければ、気持ちよく日向ぼっこができる。室内は中庭から射す日差しが明るく、暖かみも感じられ、厨房は、大勢の入居者が一緒にいられても十分なスペースがある。職員の方は理念である「心も元気 身体も元気 明るく楽しく暮らしたい」を実現すべく取り組まれている。特に当ホームは医療関係が母体の為、職員の方は薬の知識が豊富であり、体調管理には医師の指示が迅速に伝わる仕組みがある。またリハビリに力を入れられ、理学療法士の指導の基、ホーム内でも、リハビリが出来るように努められている。それ故、入居者が元気に明るく過ごされるよう、職員の方の優しい雰囲気が感じられるホームである。

【重点項目への取り組み状況】

重点項目	前回評価での主な改善課題とその後の取り組み、改善状況(関連項目:外部4)
	外部評価をホームの向上の一環として受け止め、危険物等の管理についての改善点に対して、入居者に見えないようにロールカーテンの設置、洗剤を専用の容器に移されるなど、迅速な取り組みが伺えた。
重点項目	今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4)
	自己評価は全職員で取り組まれており、会議で話し合われて作成された。取り組まれた事で自信が出来た事、まだ取り組める課題点など、現状の把握と今後の取り組む内容が見出されている。
重点項目	運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:外部4,5,6)
	2ヶ月に1度、運営推進会議を開かれており、参加者は市の職員や老人会の会員、入居者の家族を交えて話し合われている。会議録も当ホームのイベントや避難訓練等を報告されている。その際の資料は丁寧に読みやすく、伝わりやすいように工夫されており、自己評価や外部評価も会議の議題として利用されている。
重点項目	家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部7,8)
	定期的な便り、時には増刊号を送られる事で、入居者の個々の生活ぶりを伝えられている。また、毎月の支払いの際には、必ず、家族からお話を尋ねる姿勢を取っている。家族の意見を伺われた際には会議を開き、対応を話し合わせ、家族に報告されており、また書類の説明もなされている。
重点項目	日常生活における地域との連携(関連項目:外部3)
重点項目	町内の様々なお祭りに参加されたり、朝市にも顔を出されている。また避難訓練の際には地域の消防団に協力を求められている。ホームの近くには駐在所があり、警察官の立ち寄りがある等、地域の方と交流を深めるよう努めている。

2. 評価結果(詳細)

( 部分は重点項目です)

取り組みを期待したい項目

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
. 理念に基づく運営					
1. 理念と共有					
1	1	地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	当ホームの理念である「心も元気 身体も元気 明るく楽しく暮らしたい」を作成される中で、体調維持の元で地域と関わりを持つという事を願われ、職員全員で作りに上げている。		
2	2	理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	心の元気は地域等の行事やイベントに参加し、身体の元気はリハビリを通して考えられており、入居者の向上を願いながら、笑顔で日々取り組まれている。		
2. 地域との支えあい					
3	5	地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	町内の様々なお祭りに参加されたり、朝市にも顔を出されている。また避難訓練の際には地域の消防団に協力を求めている。ホームの近くには駐在所があり、警察官の立ち寄りがある等、地域の方と交流を深めるよう努めている。		
3. 理念を実践するための制度の理解と活用					
4	7	評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	自己評価は全職員で取組まれており、出来ている事、まだ取り組める課題点等の把握がなされている。また外部評価で危険物等の管理についての改善点に対して、入居者に見えないようにロールカーテンを設置される等、迅速な取り組みがなされている。		
5	8	運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	2ヶ月に1度、運営推進会議が開かれており、参加者は市の職員や老人会の会員、入居者のご家族を交えて話し合われている。会議録も当ホームのイベントや避難訓練等を報告されている。その際の資料は、丁寧に読みやすく、伝わりやすいように工夫されている。		

グループホーム 明星

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
6	9	市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	市町村とは毎月、入居者の情報提供等で、接する機会があり、担当者とは馴染みの関係を通して、質の向上に努められている。		
4. 理念を実践するための体制					
7	14	家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている	定期的な便り、時には増刊号、また個々に楽しい写真や貼付された年賀状・暑中見舞いを送られる事で、入居者の個々の生活ぶりを伝えられている。また、毎月の支払いの際は、必ず家族からお話を尋ねる姿勢を取られている。		
8	15	運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	家族の意見を伺われた際には会議を開き、対応を話し合わせ、ご家族に報告されておられる。また書類にて説明もなされている。		
9	18	職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	馴染みの関係を重視されている為、異動は極力控えられているが、離職の場合でも、1ヶ月の引継期間を持つ等の工夫がなされている。また、最近ではスポーツ大会の為に、一緒に運動され、その事を通して、職員間の関係が良好になっている。		
5. 人材の育成と支援					
10	19	職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画を立て、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	外部研修は職員の偏りが無いよう、バランスを考えて参加をされている。またその際は伝達講習をケア会議で伝えてもらい、情報の共有に努められている。新人の職員が入った場合は、日々担当職員を変え、それぞれの良い部分を取り入れてもらう等、チームケアを考えられている。		
11	20	同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	ケア研究会、または近くのグループホームと合同勉強会やスポーツ大会を開かれる等、交流を深めている。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応					
12	26	<p>馴染みながらのサービス利用</p> <p>本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している</p>	<p>入居予定の本人宅、若しくは入院先へパンフレット等を持って会いに行き、安心される関係作りを考えられている。また法人内の通所リハビリで馴染みの関係を持たれた方が来られる場合もある。</p>		
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援					
13	27	<p>本人と共に過ごし支えあう関係</p> <p>職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながらか喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている</p>	<p>職員は日々のコミュニケーションで入居者が語られる昔話や地域の風習等、教えられる事を通して、共に支えあう関係を目指されている。</p>		
.その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
1. 一人ひとりの把握					
14	33	<p>思いや意向の把握</p> <p>一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している</p>	<p>業務日誌や看護サマリー、申し送りを参考にしながら、ケアや話をする事で入居者本人の意向の把握に努めている。</p>		
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し					
15	36	<p>チームでつくる利用者本位の介護計画</p> <p>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している</p>	<p>入居者・家族・医師の意向を尋ねながら、リハビリを中心に介護計画を作成されている。また職員の気づきもケア会議で取り上げられ活かされている。</p>		
16	37	<p>現状に即した介護計画の見直し</p> <p>介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している</p>	<p>現在3ヶ月のモニタリング・6ヶ月の見直しをされている。またバイタル面や日々の暮らしの中で変化が見受けられた際はその都度見直されている。</p>		<p>計画の見直しは実施しているが、変化はあまりない。介護計画に沿った個別の記録をし、実施状況の把握に努めて頂き、モニタリングを毎月実施する事によって、詳細な変化に気付けるよう生活面と医療面の両面性を持った、見直しの取り組みに期待したい。</p>

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
3. 多機能性を活かした柔軟な支援					
17	39	事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	当ホームの母体を通してのリハビリや医療連携などの支援がある。また個別の誕生日会で主役の入居者の好みの食事を提供する等、柔軟な支援をされている。		
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働					
18	43	かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	入居者本人の掛かり付け医への受診支援がなされている。また母体の病院に情報を通してもらうことで、細やかな医療対応がなされている。		
19	47	重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	看取りに関する指針を用意され、入居者の家族にも説明し、同意を得ている。過去に1度、看取りの経験もある。基本的に医療行為が重度になると、入院の方針であるが、重度化に伴う支援に対する、職員の役割に関するマニュアルや研修の実施状況については確認出来なかった。		今後は、入居者の状態変化に伴い、重度化に関わることは必至であり、当ホーム独自の看取りに関する方向性と、職員の役割を定められ、ケアの統一を図る為の研修の実施等を期待したい。
. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
1. その人らしい暮らしの支援					
(1) 一人ひとりの尊重					
20	50	プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	人生の先輩として、尊敬の念を以って声掛けをされている。入浴介助などは、同姓の職員が対応され、書類は入居者の目に触れない所に保管される等、プライバシーに注意されている。		
21	52	日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	起床等は、その方の習慣に応じられており、早朝5時に起きられる方には新聞を渡し、一番風呂を望まれる方には、最初に入浴して頂く等、入居者の希望に添うように支援されている。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(2)その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
22	54	食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	入居者の残存能力に応じて、食事の下準備や茶碗洗い等をお願いされており、職員の1名は、入居者と一緒に談笑しながら共に食事を楽しんでいた。また好みの把握もされており、代替えを用意する等の対応がなされている。		
23	57	入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	毎日の入浴が可能であり、拒否される方には清拭やシャワー浴などで支援されておられる。また脱衣所には暖房器具が用意されるなど、入居者への配慮が伺える。		
(3)その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
24	59	役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	掃除が好きな入居者は、自分の仕事としてモップを使って掃除をされていた。また通信カラオケを用いて歌を楽しまれたり、ピースを使って見事な絵や表札を創られる等、それぞれに応じた支援がなされている。		
25	61	日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	中庭やテラスで日向ぼっこを楽しむことができる。また近くの店や初市などへ買い物に出掛けたり、気候によっては全員でドライブに出掛けられる等の支援がなされている。		
(4)安心と安全を支える支援					
26	66	鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	職員の見守りや玄関にチャイムが鳴るセンサーを用いる事で、鍵を掛けないケアに取り組まれている。また近くのグループホームや地域の方の連絡などの協力もある。		
27	71	災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	火災による避難訓練の記録がある。写真を利用したの復習しやすい工夫がなされている。また大村で行われている泊まり込みの消防訓練に毎年参加されており、緊急の連絡網が用意されている。		更に今後は、消防署立ち会いの避難訓練には全職員が参加出来るよう、日程を工夫される事と同時に、地震や水害等の天災に関する避難方法の把握が望まれる。

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
(5)その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
28	77	栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	食事は毎日記録され、水分量は1リットルを目安に摂取してもらえるよう工夫されている。また栄養士の指導も受けられており、糖尿病でも対応できる支援がなされている。		
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり					
(1)居心地のよい環境づくり					
29	81	居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	広いリビングでソファに腰掛けて、談笑し、気候によっては芝生の美しい中庭で日向ぼっこが出来る。また台所も広いので、大勢の入居者が調理を楽しむ事ができる。		
30	83	居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	居室には、入居者の使い慣れている様子の座椅子等が持ち込まれており、居心地よく過ごせるよう配慮され、車椅子を利用される方には畳の面に、パンチカーペットを用意される等の工夫がある。		